

「市長と語るとりで未来会議（庁内）」開催概要

実施概要

- ・日付：令和5年7月14日（金）13時30分～16時00分
- ・会場：取手市役所 議会棟2階 大会議室
- ・参加者：16名



プログラム

- ・市長挨拶
 - ①「子育て」「DX」「環境」「魅力創造」の4テーマで現状と課題整理。
 - ②テーマごとに「望ましい未来」「実現のために出来ること」を発表。
- ※ワークには市長も参加いただき、将来の市政運営について語り合った。
- ・講評・写真撮影

まとめ

- ・市の中堅職員として、市の目指す将来像について意見交換できた。
- ・次期総合計画策定にあたり、自らの業務の方向性や重点事業を検討するうえで、新たな視点をとりにれることができた。
- ・市長と直接言葉を交わし、今後のまちづくりへの思いを共有していただいたことは、参加者ひとりひとりの業務意欲向上につながった。



10年後の取手市の姿について、
中村市長と語り合う参加者

【ワーク①】

「子育て」・「DX」・「環境」・「魅力創造」の4テーマを掲げたテーブルを15分ごとに巡回し意見交換。「自分の感じる現状と課題」「現実的にできそうなこと」「10年後目指す姿」などを紙に貼り出した。

【ワーク②】

4ターン終了後、最初のテーブルに戻り、各グループで意見をまとめた。その後、各テーマごとに「10年先の望ましい未来と、その実現のために出来ること、やりたいこと」について、5分程度で発表を行った。

【各テーマごとの意見】

・「子育て」グループ

子育ての孤立化、「子育ては大変」というイメージの定着、といった課題解決に向け、子育てしやすい地域コミュニティの形成や男性の育休取得の促進などが重要という意見が出された。

・「DX」グループ

「全市民が市民アプリを使いこなせ、在宅ワークやオンライン会議が当たり前の日常」を目指し「保存文書のデジタル化」や「市の業務に生成AIの積極的活用など、職員の技術と知識向上の重要性が提言された。

・「環境」グループ

温暖化に伴う気候変動、減らない電力消費、ゴミ問題等が課題として挙げられ、自動車を使わなくても快適に暮らせるまちづくりや住環境整備、環境問題に関する市民の意識改革も必要、といった意見が出された。

・「魅力創造」グループ

自然に恵まれ都内へのアクセスも良い。魅力があるにも関わらずその発掘と活用不足が課題である。程よい魅力が最大限に発揮され、多くの若者が楽しく働き子育てしている将来像を掲げ、取手の名を冠したポケモンキャラの公園作りなど斬新な意見が多く提案された。



「取手市に望む10年後の未来」参加者の意見（抜粋）

子育て

【課題、現状】

- ・子育ての社会的な孤立・ストレス。
- ・若い世代が「子育ては大変だ」と思っていること。
- ・男性の育児休業がとりにくい。
- ・子どもの貧困問題。

【目指す未来】

- ・子どもや孫が取手に戻ってきて子育てするまちにしたい！
- ・男性の育休取得が当たり前。
- ・街全体で子育てする雰囲気。
- ・待機児童は常に0人。

環境

【課題、現状】

- ・温暖化に伴う気候変動の不安
- ・市外へ買い物に行くため、エネルギーロスが生じる。
- ・市民の意識改革がも必要。

【目指す未来】

- ・利根川や小貝川に蛍が飛び交う「納涼のまち取手」。
- ・再生可能エネルギー社会の実現。
- ・省エネ施設への改修が市内全域で完了している。
- ・環境保護への協力が当たり前の社会が実現されている。



市長と参加者で記念撮影

DX

【課題、現状】 ‘あらゆる業務と掛け算する’

- ・デジタルデバイド（特に高齢者）。
- ・セキュリティに対する不安。
- ・生成AI活用などに際し関係する法律の解釈が難しい。
- ・IOTやビッグデータの活用方法が確立していない。
 - ・技術や知識を持つ人材不足。

【目指す未来】

- ・全市民が市民アプリを駆使。
- ・窓口対応ロボットが活躍。
- ・保存文書の完全デジタル化。

魅力創造

【課題、現状】

- ・緑が多いが整備が不十分。
- ・緑の多い環境や都心へのアクセスなど、程よい魅力がある。もっと発信出来るはず。
- ・観光資源をもっと活用できる。

【目指す未来】

- ・若者が取手に住んで、取手で働ける。
- ・程よい魅力が最大限に発揮されて、若者がたくさん住んで子育てしている。
- ・常総線の各駅がそれぞれに特色を持ち発展している。

とりで未来会議（高校生）開催概要

実施概要

- ・日付：令和5年7月24日（月）13時30分～16時30分
- ・会場：取手市役所 議会棟2階 大会議室
- ・参加者：26名（市内6校）
（事前申込：29名（市内7校））

プログラム

- ・政策推進部長あいさつ
- ・趣旨説明、取手市及び総合計画についての説明
- ・アイスブレイク「『10年後の自分』de 自己紹介」
- ・ワーク①「10年後の取手を想像する」、発表
- ・ワーク②「魅力ある10年後の取手を考える」、発表
- ・まとめ
- ・修了証授与、写真撮影



10年後の取手市を想像…



10年後の自分について語る

まとめ

- 次世代を担う高校生が、取手の良いところ・悪いところを評価し、様々な対策を積極的に提案した。
- 単に要望を挙げるだけでなく、まちづくりを担うのは行政のみならず、自分たちや事業者にも担い手として活躍が求められていることを理解されていた。
- さらに、サービスの維持に対しては、市民・利用者としてしっかりと利用する責任と負担があることに気づいた学生も多かった。



魅力ある取手の未来について
意見を出し合う参加者

ワークショップ

参加者を5グループに分けて、「10年後の取手」を想像してもらいながらワークショップを実施した。ワーク①では、取手の良いところ（魅力）、悪いところ（課題）を挙げ、良いところを伸ばすためのアイデアと悪いところを改善するためのアイデアについて意見を出し合い、その結果を発表した。ワーク②では、10年後に若者が住みたくするためにはどのようなアイデアが必要で、そのアイデアを実現するためには誰がどのようにやると良いか意見を出し合い、その結果を発表した。

ワーク①では、取手の良さとして自然が豊かなこと、花火大会、取手駅周辺の環境が挙げられた。一方で、ファーストフード店やプリクラ機などの学生が遊べる場所が少ないこと、バスの本数が少ないこと、道路環境の未整備についても指摘された。

ワーク②では、治安をさらに良くするために環境整備の一環として街灯の設置、草刈りをする。また、自然を生かしたレジャー施設を作ることで人流を増やすこと、生活に関する面ではバスの本数を増やすこと、コンビニやファーストフード店を誘致するなどが挙げられた。誰かをお願いするだけではなく、アンケート調査を試みる、自らも行動すること（誘致した店舗でのアルバイトなど）も提案された。



各班の発表の様子

とりで未来会議（高校生）開催概要

参加者の声

参加者の声（抜粋①）

- ・高校生どうし親睦を深めることができた。取手の未来について深く考えることができた。
- ・今回のワークショップを通して、取手市の計画をより詳しく知ることが出来ました。特に、私達が将来について考えることが取手市がより活性化していければと思い、これからもこのようなイベントがあれば参加したいです！
- ・環境の違う同年代の人々と意見を交換できたことはとても良い体験になりました。ありがとうございました。要望としては、朝通学時間帯のバスを増やすことを検討していただけたらうれしいです。
- ・あまり体験することができない、いい体験ができてよかったです。他校の人とも交流を持てたので、もっとこんなイベントとかを開いて、市を活発にしたいです。



「とりで未来会議」に参加した高校生の皆さん

参加者の声（抜粋②）

- ・勝手にもっとかたい会議のイメージをしてしまっていたけど、グループワークのような意見を交換しやすい形を用意して下さったおかげで、今回取手未来会議に関わることができて、とても楽しかったです。
- ・普段、関わることのない他校の方々とは沢山お話できたのでとても楽しかったです！こういったイベントを行うことは、新しい発見ができるとても良い機会だなあと思いました！ありがとうございました！
- ・今回のワークショップに参加して、人と協力して何かを考えるのはとても楽しくて、やりがいがありました。
- ・グループの人から、取手だけでなく藤代との違いもきけたので面白かったです。
- ・自ら意見を言うのは苦手だったけれど、客観的に物事を捉えることが出来たと思います。今回の活動を通して、誰かと意見を共有することによって新たな発見が生まれるなどそのものへの面白さを十分に感じました！！
- ・イオン絶対成功させてください！応援してます！

参加者の声（抜粋③）

- ・第1回目という貴重な機会に参加することができてよかった。取手市内に住んでいる訳ではないが、取手市内の高校に通う一人として、色々な学校の人と意見を交換できたことはとてもよい体験になった。
- ・私も自分にできることを探しながら今後活かしたい。とても大切なお仕事だと思いますが、これからよりよい取手市に発展されることをお祈りしています！
- ・学校でも行っている取手市をより良くするためには、という授業でも同じ事を行っていてとても勉強になって良かったです。
- ・今回ワークショップに参加してみて、自身の学校に通っているだけじゃわからなかった、他校の人が考える取手市の良いところ、改善点を知れて、自分の価値観や思考の幅が広がりました。市役所の方々がとても温かくてうれしかったです。

とりで未来会議（取手・藤代会場）開催概要

実施概要

（時間はいずれも9：30～11：30）

【取手会場】

- ・日付：令和5年7月29日（土）
- ・会場：福社会館 講座室C
- ・参加者：10名

【藤代会場】

- ・日付：令和5年8月6日（日）
- ・会場：藤代庁舎1階 大会議室
- ・参加者：5名



「良いところ」「良くないところ」を発表
（藤代会場）

プログラム

- ・政策推進部長あいさつ
- ・趣旨説明、総合計画についての説明
- ・ワークショップのテーマ
テーブルA：取手市の良いところ・将来に残したいところ
テーブルB：取手市の良くないところ・課題
テーブルC：新たに取り入れたいこと・変えたいこと
- ・共有、まとめ、写真撮影



出された意見からキーワードを探る（取手会場）

ワークショップ：ワールドカフェ形式

3つの班に分かれ、各々にテーマを設定（藤代会場は1班で実施）

参加者は第1～3ターンで各テーブルを巡回して意見を出し合った。

その後、第1ターンのテーブルに戻って全員の意見を見ながら、取手市に大切なこと、必要だと思うことについてキーワードを2つ選び、それらについて「誰がやるべきことか」について発表した。

まとめ

- 「良くないところ・課題」に関する意見が多く挙げられると思われたが、実際には「良いところ、残したいこと」とともに、今後の期待となる「取り入れたいこと」に関する意見も多く寄せられた。
- 取手市の多様な魅力を市民は認識しつつも、それら活用と外部発信（PR）に課題があると感じている。
- （市が情報発信をしているにも関わらず）市からの情報発信が不足していると感じている。

○全体的に、「自然がありながら都心にも通いやすい」「人口が多すぎなくて、施設利用をしやすく互いの顔もわかりやすい」といった「暮らすのにほどよい状態」を評価、今後も維持してほしい、との方向性を共有できた。

○必要な取組みに関しては、行政に依頼するばかりではなく、市民や事業者で行うべきものもあることを参加者の多くが気付いてくださった。行政には、「市民が活躍しやすい場づくり」の支援を依頼する声が聞かれた。

○今回のとりで未来会議への参加自体に魅力を感じていた。市民参加の場の提供を求めるとともに、市民が市政に積極的に参加していく必要性を共有していた。

～10年後を見据えて、取手市に大切なこと、必要だと思うこと～

【取手会場】

○地域のつながり、市民参加の場の充実が評価される一方、若者の少なさ、若者へのPR不足が課題として指摘され、取手駅周辺の利便性や特産品のPRに今後の期待を託していた。

✓取手市の良いところ、将来に残したいところ

- ・自然、歴史・文化、農産物、交通の便がよい
 - ・行政の情報発信が充実、働く場所がある。
- 上のような「取手の良さ」をバランスよく守り、活用していくことが必要。
→行政には、皆がつながることができる集まりや活動の場、高齢者もサービスを受けるだけでなく参加し楽しむことができるような機会づくりをお願いしたい。

✓取手市の良くないところ・課題と感ずるところ

- ・市内で日常のものを揃えるために、買い物できる場所が少ない。
 - ・納税する若い世代を呼び込む必要がある。
 - ・行政には高校生以上の若い世代と子育て世代のニーズを把握することが必要。
 - ・若い世代と高齢世代のギャップを把握することも必要。
 - ・イオンモールの早期実現と出店計画については市民のニーズを伝えてほしい。
- 若い人たちが増えると店も増えるだろう。他方で、若い人たちを呼び込むための魅力的な店を増やす策も検討する余地があるのではないかと指摘。

✓取手市に新たに取入れたいこと・変えたいこと

- ・茨城県の玄関口として、取手の魅力をアピールすることが必要。
- ・名物やつながりづくりが必要。
- ・コンテンツを生かして魅力を深めていくため専門部署を設置すること。
- ・取手への来やすさを改善するために取手駅の構内をわかりやすくすること。
- ・取手駅前に店が少ないので市の特産品を販売する店を作ってもらうこと。
- ・若者が住めるような賃貸物件を増やしてほしい。

【藤代会場】

○「自然と都市機能のバランスがほどよい魅力」とする一方、少子高齢化や移動手段の不便さが指摘され、既存の魅力をもっと発信することや自分たちも意見を発信すべきという市民参加に対する積極的な思いも聞かれた。

✓取手市の良いところ、大切にしたいところ・将来に残したいところ

- ・豊かな自然（緑、河川、農）、歴史（陣屋、祭事）・文化（アート）、商店・施設（旧商店街、駅前、物価安）、交通（都心へのアクセス、国道）に魅力を感じている。
- 「田舎すぎず都会すぎない」過ごしやすさを評価。

✓取手市の良くないところ・課題と感ずるところ

- ・公共交通の利便性の低さや駐車場の不足、通勤時間帯の駅周辺の混雑など、移動に関する課題。
 - ・商店街や川沿いの環境、コミュニティバス、芸大等既存ストックの活用不足。
 - ・老々介護や子育て環境（病児保育）への不安。
 - ・少子高齢化。
- 少子高齢化、移動手段の利便性に関する課題を指摘。また、既存の価値の活用不足、市からの情報発信不足も感じている。

✓取手市に新たに取入れたいこと・変えたいこと

- ・市内住民への情報発信に加え、市外の住民に対するPRも改善の余地があるとの意見が挙がった。
 - ・「ほどよく絶妙」というキャッチコピーが表す具体的なもの（取手駅が始発駅であることなど）が効果的に伝わっていないのではないかと。
 - ・今回のとりで未来会議のような話し合いの場をもっと設けてほしい。
 - ・市民として、今回のような意見交換に積極的に参加しなければならない。
- 市へ期待するばかりでなく、市民もまちづくりに意見を出し参加する機会が必要。